

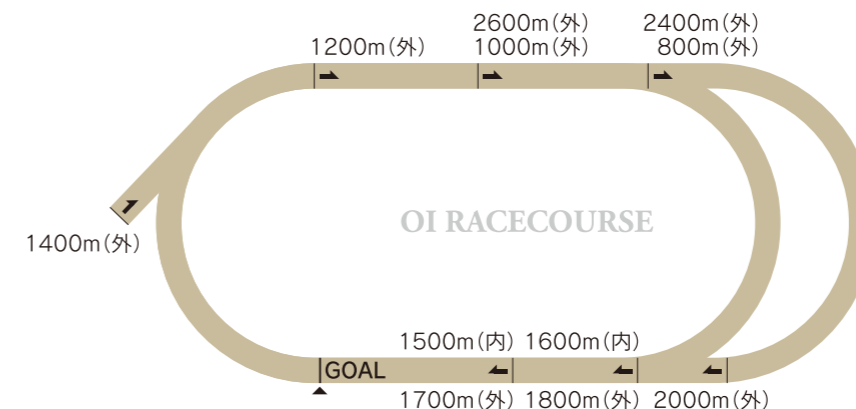
都心からほど近い品川区に立地する地方競馬最大規模の競馬場。
ハイセイコーやイナリワンなど数多くの名馬を輩出してきました。
夏は帝王賞、年末には東京大賞典といった
ダート競馬最高峰の戦いが行われます。



コース紹介

Course introduction

1周は1600m。右回りで、比較的カーブがきついのが特徴。そのため、先頭から最後方まで隊列が縦に長くなるケースが多い。しかし、後方からの直線一気が見られるケースも多く、脚質による有利不利が少ないコース形態である。



回り	外回りコース/右 内回りコース/右
1周距離	外回りコース/1600m 内回りコース/1400m
直線距離	外回りコース/385.8m 内回りコース/285.8m
幅員	外回りコース/25m 内回りコース/25m
高低差	平坦
フルゲート	16頭

競馬場紹介

Racecourse introduction

大井競馬場では春頃から年末にかけて、日本初のナイター競馬である『トゥインクルレース』が行われています。日没後の場内では各所に設置されたイルミネーションが点灯し、競馬場とは思えない煌びやかな雰囲気漂います。また、お盆や年末のシーズンには大規模グルメフェスが実施され、仕事帰りのサラリーマンやOL、家族連れの方の姿も多く見られます。

イルミネーション



2018年10月には、関東最大級となる約800万球規模のイルミネーションが設置されるなど、都心にありながら広大な敷地を有する大井競馬場ならではのロケーションを活かした唯一無二のエンターテインメントが登場します。

ハイセイコー馬像



大井競馬出身の元祖アイドルホース『ハイセイコー』の馬像。夜になると背景のイルミネーションが点灯し、馬像を煌びやかにライトアップします。2000年の建立以来、大井競馬場のフォトスポットとして人気を集めています。

ウマイルスクエア



2016年11月のオープン以降、広大なイベントスペースとして、夏休みや年末開催の時期には、大規模グルメフェスなどが行われてきました。2018年10月には、新たなイルミネーションスポットとして生まれ変わります。

スイーツステーブル

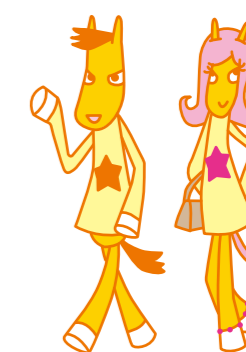


ログハウス風の店舗が立ち並ぶ『スイーツステーブル』!ここでしか食べられないTCK限定スイーツなども多数取り揃えております。競馬予想で使った頭をあま〜いスイーツでリフレッシュ!

ダイヤモンドターン



2017年4月にリニューアルオープンした、競馬観戦型レストラン。本格的な料理をbuffetスタイルで楽しみながら、一日中優雅に白熱したレースを観戦することができます。座席はお一人様からグループまで、お客様のニーズに合わせてお選びいただけます。





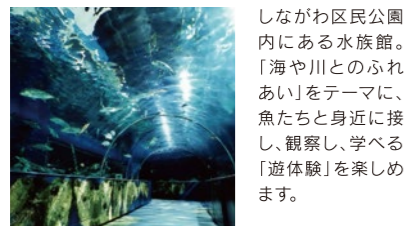
大井競馬場周辺おすすめスポット

Welcome to OI!

大井競馬場へはJR3駅からの無料バス・東京モノレール・京浜急行などでの来場が可能! 都内の観光名所からもアクセス抜群なんです! お昼はあちこち東京観光、夜は大井でトゥインクルレース!



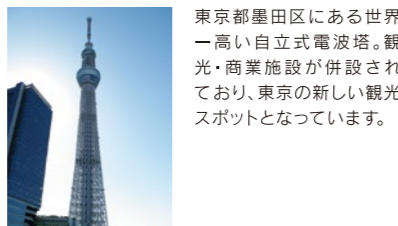
しながわ水族館
東京都品川区勝島3-2-1



しながわ区民公園内にある水族館。「海や川とのふれあい」をテーマに、魚たちと身近に接し、観察し、学べる「遊体験」を楽しめます。

大井競馬場から徒歩約10分

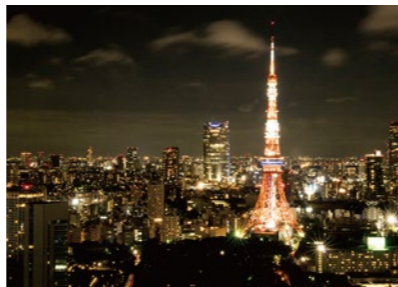
東京スカイツリー
東京都墨田区押上1-1-2



東京都墨田区にある世界一高い自立式電波塔。観光・商業施設が併設されており、東京の新しい観光スポットとなっています。

JR錦糸町駅から徒歩約20分

東京タワー
東京都港区芝公園4-2-8



東京都港区芝公園にある電波塔。季節によってはイルミネーションが施されているので、トゥインクルレース後に立ち寄るのがオススメ!

東京モノレール浜松町駅から徒歩約15分

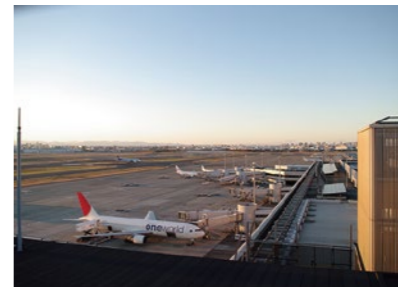
坂本龍馬像
東京都品川区東大井2-25-22



京急立会川駅にある坂本龍馬のブロンズ像。龍馬が立会川にいたと言われている20歳頃の顔を再現しています。

京急立会川駅から徒歩1分

羽田空港
東京都大田区羽田空港3-3-2



大田区に立地する空の玄関口。空港内にある「江戸小路」は、江戸の街を再現した飲食店や物販店が立ち並び、観光スポットとしても注目を集めています。

東京モノレール羽田空港各駅から徒歩すぐ

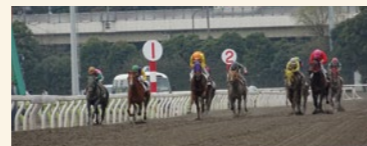
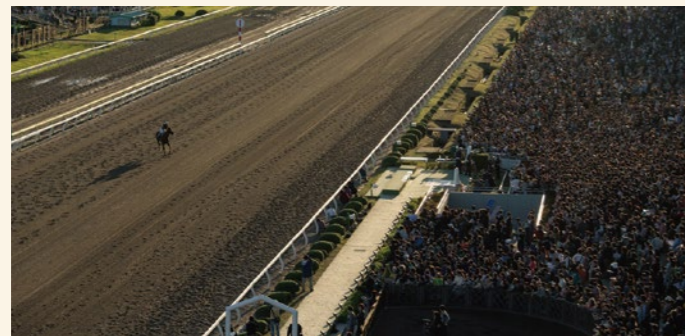
天王洲アイランド
東京都品川区東品川



大井競馬場から東京モノレールで1駅の近代的エリア。ウォーターフロントはボードウォークで回遊でき、緑豊かな広場やレストランなども楽しめます。

東京モノレール天王洲アイランド駅から徒歩すぐ

大井競馬場 基本データ



開場は1950年5月。砂厚は中央競馬よりも1cm浅い8cm。現在は一般的となっているゴール写真判定、枠別の帽色、スターティングゲート、パトロールフィルム制度等はいずれも大井競馬場が初めて採用しました。

アクセスマップ



[主催者] 特別区競馬組合
[所在地] 東京都品川区勝島2-1-2
TEL 03-3763-2151
<http://www.tokyocitykeiba.com/>

無料

■バス: JR大井町駅(中央口東・7番停留所)
JR大森駅(東口・C7番停留所)、JR錦糸町駅(南口)
※錦糸町駅からのバスは、トゥインクルレース開催および年末開催のみ運行

有料

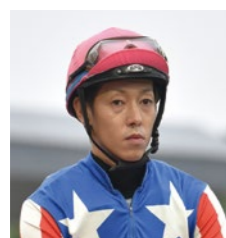
■東京モノレール: 「大井競馬場前」駅下車、徒歩2分
■京浜急行: 「立会川」駅(急行停車)下車、徒歩12分
■都営バス: 「目黒駅前」(JR目黒駅東口1番乗り場)乗車、所要時間約35分
「品川駅前」(JR品川駅高輪口2番乗り場)乗車、所要時間約18分

大井競馬
騎手・調教師
2017年 勝利数ベスト5

騎手	第1位	238勝	矢野 貴之
	第2位	146勝	真島 大輔
	第3位	131勝	笹川 翼
	第4位	131勝	の場 文男
	第5位	123勝	和田 諒治

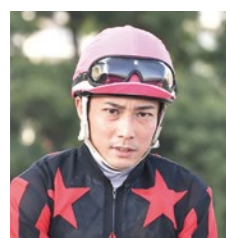
調教師	第1位	75勝	藤田 輝信
	第2位	58勝	荒山 勝徳
	第3位	40勝	宗形 竹見
	第4位	38勝	堀 千亜樹
	第5位	37勝	の場 直之

※勝利数が同数の場合、2着数が多い者を上位とする。



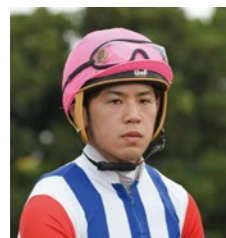
RYO AKAMINE
赤嶺 亮
[赤嶺 本浩/東京都出身]

- ▶ 1986年8月13日生
- ▶ 2005年10月30日初騎乗
- ▶ 3,769戦182勝



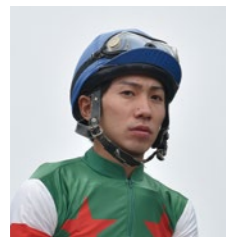
JUN ARITOSHI
有年 淳
[井上 弘之/神奈川県出身]

- ▶ 1984年11月19日生
- ▶ 2002年4月9日初騎乗
- ▶ 4,934戦298勝



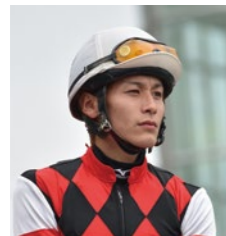
YOICHI ANDO
安藤 洋一
[藤田 輝信/岐阜県出身]

- ▶ 1989年6月14日生
- ▶ 2009年6月21日初騎乗
- ▶ 1,460戦61勝



SYUNSUKE ISHIKAWA
石川 駿介
[東京都出身]

- ▶ 1988年8月14日生
- ▶ 2006年4月9日初騎乗
- ▶ 2,166戦89勝



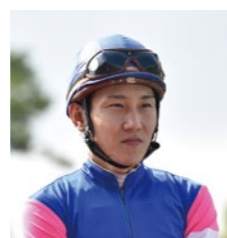
KENTO UEDA
上田 健人
[寺田 新太郎/北海道出身]

- ▶ 1991年5月23日生
- ▶ 2009年4月20日初騎乗
- ▶ 1,621戦80勝



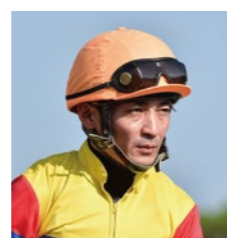
YUKI ERIGUCHI
江里口 裕輝
[小野寺 晋廣/福岡県出身]

- ▶ 1995年3月11日生
- ▶ 2012年4月16日初騎乗
- ▶ 1,187戦33勝



KENTA ENDO
遠藤 健太
[遠藤 茂/東京都出身]

- ▶ 1991年11月18日生
- ▶ 2009年4月20日初騎乗
- ▶ 982戦36勝



TAKEHIRO KASHIWAGI
柏木 健宏
[千葉県出身]

- ▶ 1981年5月8日生
- ▶ 2000年10月13日初騎乗
- ▶ 10,236戦744勝



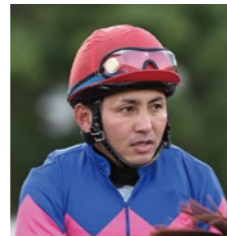
ICHIYA KITANO
北野 壱哉
[橋本 和馬/兵庫県出身]

- ▶ 2001年3月7日生



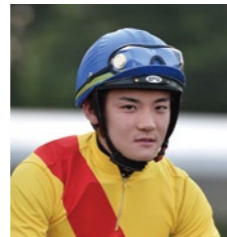
TAKUMI KOBAYASHI
小林 拓未
[鈴木 啓之/埼玉県出身]

- ▶ 1988年9月6日生
- ▶ 2006年4月9日初騎乗
- ▶ 1,962戦49勝



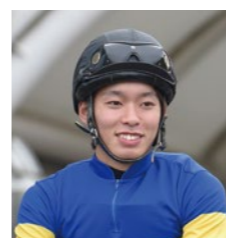
HIDEMITSU SAKAI
坂井 英光
[栗田 裕光/愛知県出身]

- ▶ 1975年4月11日生
- ▶ 1995年4月11日初騎乗
- ▶ 18,699戦1,971勝



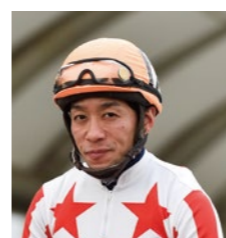
TSUBASA SASAGAWA
笹川 翼
[米田 英世/新潟県出身]

- ▶ 1994年7月17日生
- ▶ 2013年4月7日初騎乗
- ▶ 5,447戦481勝



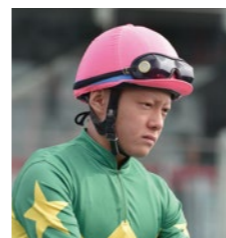
MASAKI SEGAWA
瀬川 将輝
[月岡 健二/東京都出身]

- ▶ 1996年1月21日生
- ▶ 2014年4月4日初騎乗
- ▶ 1,051戦49勝



SEIKI TAKANO
高野 誠毅
[佐野 謙二/福島県出身]

- ▶ 1984年6月8日生
- ▶ 2003年10月7日初騎乗
- ▶ 2,080戦70勝



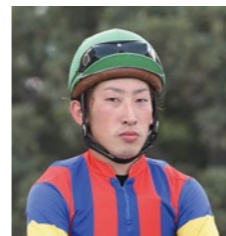
SHOHEI TAKAHASHI
高橋 昭平
[宮本 康/東京都出身]

- ▶ 1994年10月3日生
- ▶ 2014年4月2日初騎乗
- ▶ 521戦23勝



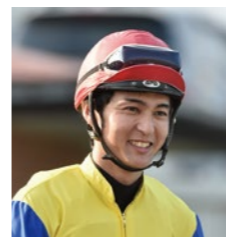
RYUJI TATSUSHIRO
達城 龍次
[神奈川県出身]

- ▶ 1978年12月19日生
- ▶ 1996年4月10日初騎乗
- ▶ 6,578戦397勝



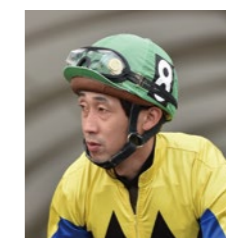
HIROSHI CHIDA
千田 洋
[岩手県出身]

- ▶ 1990年3月6日生
- ▶ 2010年4月20日初騎乗
- ▶ 2,063戦85勝



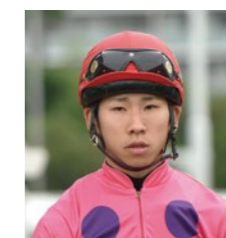
SYOHEI NAKAMURA
中村 尚平
[渡邊 和雄/愛知県出身]

- ▶ 1983年11月14日生
- ▶ 2009年6月21日初騎乗
- ▶ 1,511戦43勝



KOSUKE NARAZAKI
榎崎 功祐
[広島県出身]

- ▶ 1982年1月29日生
- ▶ 1999年10月23日初騎乗
- ▶ 11,990戦1,141勝



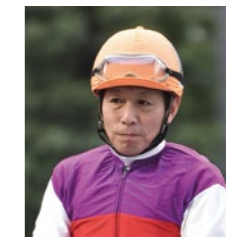
KEITA NISHI
西 啓太
[橋本 和馬/岩手県出身]

- ▶ 1994年1月14日生
- ▶ 2014年4月1日初騎乗
- ▶ 1,396戦93勝



KOSHUN HAYATA
早田 功駿
[東京都出身]

- ▶ 1990年1月9日生
- ▶ 2007年4月16日初騎乗
- ▶ 2,709戦136勝



SHUJI HAYATA
早田 秀治
[千葉県出身]

- ▶ 1960年1月5日生
- ▶ 1976年11月6日初騎乗
- ▶ 10,662戦1,023勝



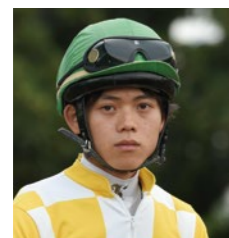
HISAYOSHI HIGASHIHARA
東原 悠善
[柏木 一夫/山口県出身]

- ▶ 1978年1月27日生
- ▶ 2002年6月14日初騎乗
- ▶ 2,442戦76勝



RYO FUJITA
藤田 凌
[荒山 勝徳/北海道出身]

- ▶ 1999年10月8日生
- ▶ 2017年4月17日初騎乗
- ▶ 256戦18勝



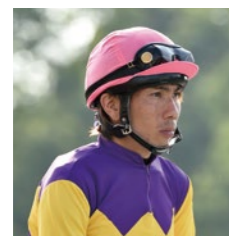
GENKI FUJIMOTO
藤本 現暉
[蛸名 雄太/滋賀県出身]

- ▶ 1997年11月6日生
- ▶ 2015年4月8日初騎乗
- ▶ 730戦41勝



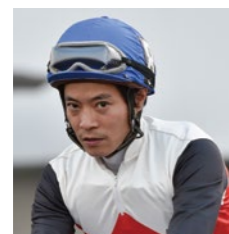
NAOKI HOMMURA
本村 直樹
[高岩 孝敏/福井県出身]

- ▶ 1978年4月1日生
- ▶ 1997年6月19日初騎乗
- ▶ 2,258戦72勝



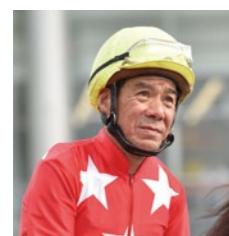
DAISUKE MASHIMA
真島 大輔
[佐賀県出身]

- ▶ 1983年7月8日生
- ▶ 2001年10月29日初騎乗
- ▶ 15,469戦1,843勝



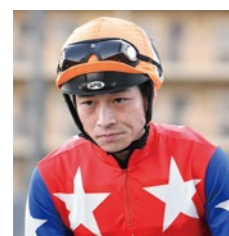
MASAHIRO MATSUZAKI
松崎 正泰
[栗田 泰昌/東京都出身]

- ▶ 1978年9月13日生
- ▶ 2006年6月26日初騎乗
- ▶ 878戦32勝



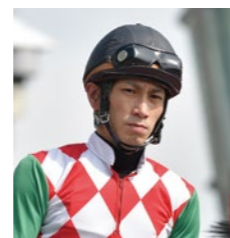
FUMIO MATOBA
的場 文男
[福岡県出身]

- ▶ 1956年9月7日生
- ▶ 1973年10月16日初騎乗
- ▶ 40,000戦7,085勝



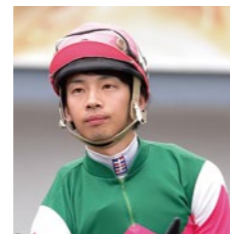
NORIFUMI MIKAMOTO
御神本 訓史
[三坂 盛雄/島根県出身]

- ▶ 1981年8月25日生
- ▶ 1999年4月10日初騎乗
- ▶ 12,606戦2,018勝



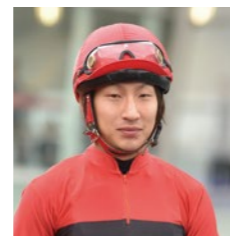
TAKAYUKI YANO
矢野 貴之
[群馬県出身]

- ▶ 1984年8月3日生
- ▶ 2002年4月12日初騎乗
- ▶ 9,570戦979勝



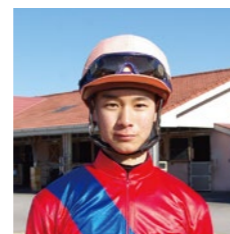
RYO YAMAZAKI
山崎 良
[東京都出身]

- ▶ 1992年2月12日生
- ▶ 2011年4月18日初騎乗
- ▶ 1,380戦72勝



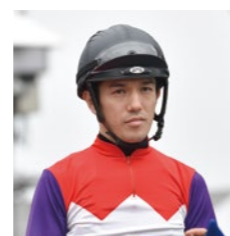
REO YOKOGAWA
横川 怜央
[的場 直之/岐阜県出身]

- ▶ 1992年9月5日生
- ▶ 2010年4月20日初騎乗
- ▶ 1,845戦122勝



SYO YOSHII
吉井 章
[松浦 裕之/東京都出身]

- ▶ 2001年3月26日生



JOJI WADA
和田 譲治
[鹿児島県出身]

- ▶ 1984年2月11日生
- ▶ 2002年4月22日初騎乗
- ▶ 9,217戦681勝

【プロフィールの見方】 騎手名[所属厩舎/出身地] 生年月日 初騎乗 地方競馬通算成績(2017年12月31日終了時点) ※五十音順

激戦区の南関東で 若き騎手たちが培った技術を披露!

地元所属騎手の活躍が光った南関東でのトライアルラウンド

トライアルラウンド 川崎

“初めての勝利”に沸いた 東日本での初戦

東日本地区での最初の舞台は川崎競馬場。JRA所属の木幡育也騎手が負傷したことで、この日の交流競走に騎乗予定があったJRA栗東所属の川又賢治騎手が加わるようになった。

川崎競馬場はカーブがきついのが特徴で、川崎での騎乗が初めてという騎手もいるだけに、スローペースになったのは仕方のないところ。それでもその流れで折り合いをつけた横山武士騎手(JRA)が、初めての地方競馬での騎乗で勝利を飾った。



第2戦も前半がゆっくりとしたペース。そうすると、最内枠から逃げた中越琉星騎手(川崎)にとっては大歓迎といえる形になった。そのときの中越琉星騎手(川崎)は、高知競馬場にて期間限定騎乗で修業中。本来の所属競馬場に戻っての逃げ切り勝ちは、中越琉星騎手(川崎)にとって南関東で挙げた初めての勝利でもあった。

“初勝利”のキーワードを持つ2人は、ともに父親が騎手という“2世ジョッキー”。表彰台では満面の笑顔が弾けた。



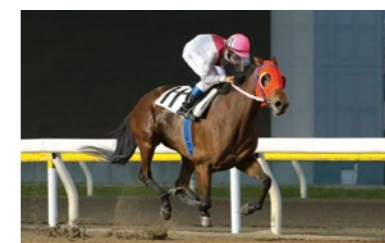
左/横山武士騎手(JRA) 右/中越琉星騎手(川崎)

トライアルラウンド 船橋

地元所属騎手が躍動し、藤田 菜七子騎手(JRA)も好騎乗



10月26日に行われたトライアルラウンド船橋は、時期的に大詰めが見えてくるところ。各騎手がここでの結果を強く意識するためか、レースは2戦とも3連単の配当が6ケタになる大波乱。第1戦は後方から追い込んだ臼井健太郎騎手(船橋)が8番人気馬で勝ち、2着には最低人気馬で先行した岡村健司騎手(船橋)が粘り、3着には4番人気馬で最後方からインを突いてきた藤田菜七子騎手(JRA)が入った。



続く第2戦は、前半がかなりのスローペースで進んだ影響で、向正面で3番手までにいた馬でのワンツースリー。菊澤一樹騎手(JRA)が門別に続くシリーズ2勝目を挙げ、櫻井光輔騎手(川崎)が2着、逃げた臼井健太郎騎手(船橋)が3着に粘り込んだ。

そのあとの4着には、JRA所属の藤田菜七子騎手が入線。藤田菜七子騎手(JRA)はトライアルラウンドで6戦して、すべて5着以内に入るという成績を残した。ほかの出場騎手は全員、1回以上は6着以下があっただけに、常に上位争いに加わってくる藤田菜七子騎手(JRA)の騎乗ぶりには光るものがあった。

トライアルラウンド 浦和

地元所属の期待の星が 輝きを放つ勝利を披露

東日本地区での最後の戦いは浦和競馬場。1周1200mは川崎競馬場と同じだが、最後の直線は220mと、川崎より80mも短い。道中の立ち回りが難しい競馬場だが、そうなる経験がモノを言うことになるのかもしれない。

第1戦は先手を取った地元所属の保園翔也騎手(浦和)が逃げ切り勝ち。2着に大井の藤田凌騎手が入り、3着には臼井健太郎騎手(船橋)。そのあとも地方競馬所属騎手が7着まで続いた。



第2戦は第1戦よりも速いペース。その流れのなか、向正面から抑えきれないほどの手応えて上昇していったのが、初騎乗から1か月少々、通算勝利数がゼロの赤津和希騎手(浦和)だった。赤津和希騎手(浦和)は騎手免許こそ春に取得したが、肩の手術のため同期より半年遅れてのデビュー。トライアルラウンド船橋では2戦とも最下位に敗れ、浦和での第1戦も10着だった。しかし第2戦ではゴール直前で差し切り勝ち。12頭立て11番人気での衝撃的な初勝利だった。

この結果、東日本地区からファイナルラウンドへの進出を決めたのは、鈴木祐騎手(岩手)、臼井健太郎騎手(船橋)、保園翔也騎手(浦和)、中越琉星騎手(川崎)。JRA所属からは藤田菜七子騎手、菊澤一樹騎手、横山武士騎手(第3位の騎手が騎乗停止のため繰り上がり)となった。